ONKYO®

スーパーオーディオ CD /
CD プレーヤー

C-S5VL

取扱説明書

SUPER AUDIO CD

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法は同じです。

安全上のご注意

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使い方をすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使い方をしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

区分	内容
⚠ 警告	誤った使い方をすると、火災・感電などにより死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	誤った使い方をすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△ 記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⃠ 記号は 「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

● 記号は 「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

⚠ 警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

カバーははずさない、分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■放熱を妨げない

禁止

- 押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
  （本機の天面から 2cm 以上、背面から 5cm 以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

■電源コードを傷つけない

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。
電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

安全上のご注意 - つづき

⚠警告

使用上のご注意

■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機のディスク挿入口から異物を入れない

■ディスク挿入口に手を入れない

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■配線コードに気をつける

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧（交流１００ボルト）で使用する

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

発熱し、火災の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

⚠注意

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。

使用上のご注意

■音量を上げすぎない

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■長時間大きな音でヘッドホンを使用しない

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

コードが傷つき火災や感電の原因になります。

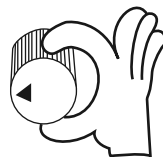
■本機の上にものを乗せたまま移動しない

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因になります。

■ 機器内部の点検について
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をお勧めします。
本機の内部にほこりのたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■ 本機のお手入れについて
- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本機の特長

■ VLSC（Vector Linear Shaping Circuitry）を搭載し、飛躍的な音質向上を実現

■ ハイグレード24bit/192kHz D/Aコンバーター搭載（WM8742）

■ スーパーオーディオCD、オーディオCD、CD-R、CD-RW、MP3CD、WMA CDに対応

■ マスタークロック温度安定化回路を搭載

■ デジタル出力ON/OFF切換え機能

■ デジタルフィルターコントロール（CD：5モード、スーパーオーディオCD：4モードとDSD Direct）

■ PHASE コントロール（NORMAL/INVERT）

■ 削り出し金メッキピンジャック採用

■ 振動に強く剛性の高いシャーシを使用

■ インレットタイプ（着脱式）極太電源コード

■ デジタル出力端子としてOPTICAL（光）とCOAXIAL（同軸）それぞれ1系統装備

■ アルミニウム製フロントパネル

■ RI端子装備

その他
- リピートモード（スーパーオーディオCD/CD：ディスクリピート、トラックリピート、MP3CD/WMA CD：トラックリピート、フォルダリピート、ディスクリピート）、A-B リピートモード
- ランダムモード（スーパーオーディオCD/CD：ディスクランダム、MP3CD/WMA CD：フォルダランダム、ディスクランダム）
- メモリーモード
- 音量調整可能なヘッドホン端子
- ディマーモード（標準/やや暗い/暗い/消灯の4レベル）

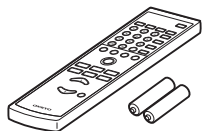
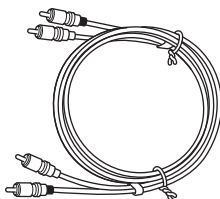
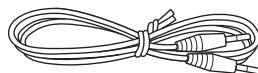
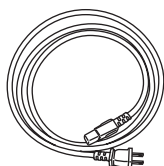
目次

使用の前に

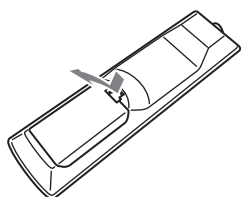
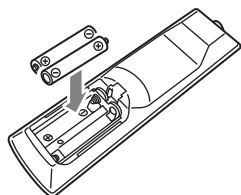
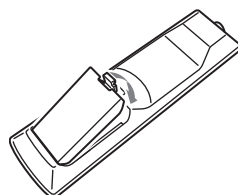
本機を使用する前に確認していただきたいことや、知っておいていただきたい情報を説明します。

付属品の確認

パッケージを開梱したら、付属品が揃っていることを確認してください。

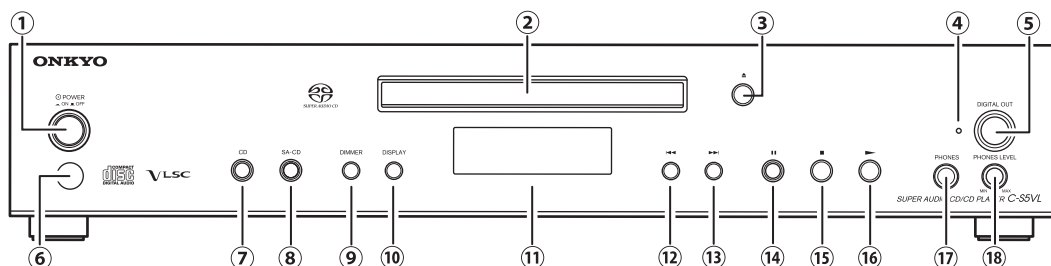
- リモコン（RC-749C）..........1 個
- 単 3 型乾電池（R6）.............2 本

- オーディオ用ピンコード（1m）................1 本

- RIコード（80cm）.............1 本

- 電源コード（2m）.................1 本

- 取扱説明書（本書）.............1 冊
- 保証書..1 部
- ユーザー登録カード...........1 枚
- オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内................1 枚

リモコンの準備

1 ツメを矢印方向に押して持ち上げ、カバーをはずします。

2 中の極性表示にしたがって、付属の電池2個をプラス⊕、マイナス⊖を間違えないように入れます。

3 カバーを閉めます。

リモコン操作の反応が悪くなったら、2本とも新しい乾電池（単3形）と交換してください。

- 電池の極性（⊕、⊖）は、表示通り正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

各部の名称

本体前面

① POWER（パワー）スイッチ
本機の電源をオン/オフします。

② ディスクトレイ
ディスクをセットします。（→p.17）

③ ⏏（オープン/クローズ）ボタン
ディスクトレイを開閉します。（→p.17）

④ DIGITAL OUT（デジタル アウト）インジケーター
デジタル出力がオンのときに点灯します。

⑤ DIGITAL OUT（デジタル アウト）スイッチ
デジタル出力をオン/オフします。（→p.17）

メモ

再生中は、このボタンは使用できません。

⑥ リモコン受光部

⑦ CDボタン
スーパーオーディオCDハイブリッドディスクを再生する場合に、CDエリアを選択します。（→p.18）

メモ

再生中は、このボタンは使用できません。

⑧ SA-CDボタン
スーパーオーディオCDハイブリッドディスクを再生する場合に、スーパーオーディオCDエリアを選択します。（→p.18）

メモ

再生中は、このボタンは使用できません。

⑨ DIMMER（ディマー）ボタン
表示部の明るさを4段階で切り換えます。

標準→やや暗い→暗い→消灯
↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」

メモ

消灯にしている場合でも、本機を操作すると5秒間だけ点灯します。

⑩ DISPLAY（ディスプレイ）ボタン
表示する情報を切り換えます。（→p.22）

⑪ 表示部（→p.9）

⑫ ⏮ボタン
再生中の曲の頭出しをします。押し続けると早戻しします。
MP3やWMAを記録したディスクが停止中の場合は、フォルダを切り換えます。
CDやスーパーオーディオCDが停止中の場合は、前のトラックを選択します。（→p.20）

⑬ ⏭ボタン
次の曲の頭出しをします。押し続けると早送りします。
MP3やWMAを記録したディスクが停止中の場合は、フォルダを切り換えます。
CDやスーパーオーディオCDが停止中の場合は、次のトラックを選択します。（→p.20）

⑭ ❚❚（ポーズ）ボタン
ディスクの再生を一時停止します。一時停止中は、再生を再開します。（→p.20）

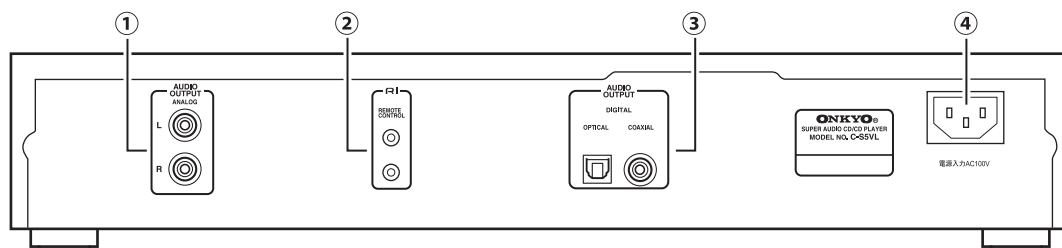
⑮ ■（ストップ）ボタン
ディスクの再生を停止します。（→p.20）

⑯ ▶（プレイ）ボタン
ディスクを再生します。（→p.17）

⑰ PHONES（フォーンズ）端子
標準プラグのステレオヘッドホンを接続できます。

⑱ PHONES LEVEL（フォーンズ レベル）つまみ
本機に接続したヘッドホンの音量を調節できます。右に回すと音量が大きく、左に回すと小さくなります。

使用の前に - つづき

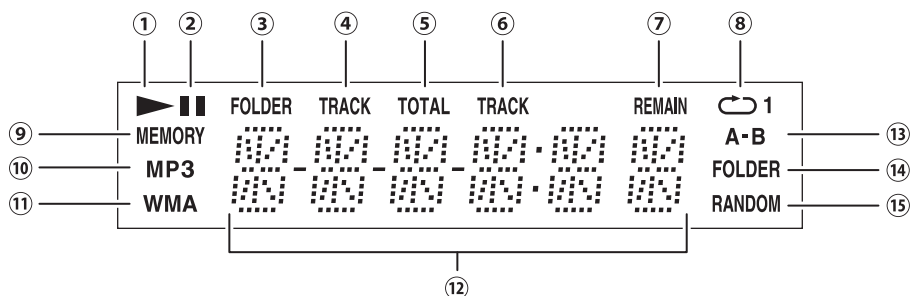
本体背面

① **AUDIO OUTPUT ANALOG端子**
付属のオーディオ用ピンコードで、アンプなどのアナログ音声入力端子と接続します。

② **RI端子**
RI端子付きのオンキヨー製アンプなどと接続します。

③ **AUDIO OUTPUT DIGITAL（OPTICAL/COAXIAL）端子**
デジタル入力端子付きのアンプなどと接続します。OPTICAL端子は、市販のオーディオ用光デジタルケーブルで接続します。COAXIAL端子は、市販の同軸デジタルケーブルで接続します。OPTICAL/COAXIALの両端子からは、同じデジタル音声が出力されます。

④ **AC INLET**
付属の電源コードを接続します。

接続については 15 〜 16 ページをご覧ください。

本体表示部

① ►（プレイ）
再生中に表示されます。

② ❚❚（ポーズ）
一時停止中に表示されます。

③ FOLDER（フォルダー）
MP3、WMAを記録したディスクの再生時に、フォルダー番号と共に表示されます。

④ TRACK（トラック）
ディスクの再生時に、トラック番号と共に表示されます。

⑤ TOTAL（トータル）
曲の長さや残り時間を表示するときに表示されます。

⑥ TRACK（トラック）
MP3、WMAを記録したディスクの再生時に、トラック番号と共に表示されます。

⑦ REMAIN（リメイン）
残り時間を表示するときに表示されます。

⑧ （リピート）/（リピート）1
リピート再生中に表示されます。
再生中の曲だけをリピートするときは、「1」も表示されます。（→p.23）

⑨ MEMORY（メモリー）
メモリー再生中に表示されます。（→p.24）

⑩ MP3
MP3を記録したディスクの再生時に表示されます。

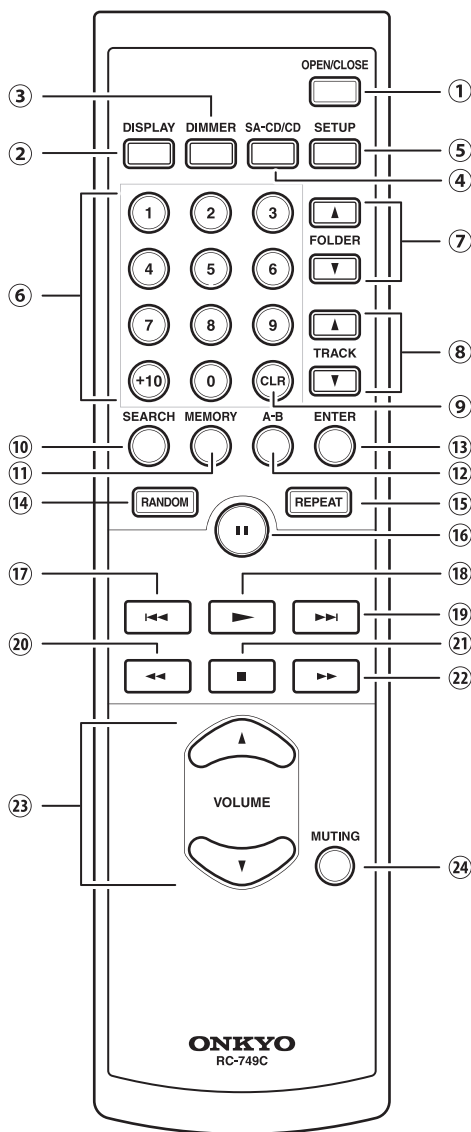
⑪ WMA
WMAを記録したディスクの再生時に表示されます。

⑫ 数値表示部
フォルダー番号、トラック番号、再生時間、残り時間などが表示されます。

⑬ A-B
A-Bリピート再生中に表示されます。（→p.23）

⑭ FOLDER（フォルダー）
フォルダーのリピート再生中やランダム再生中に表示されます。（→p.23）

⑮ RANDOM（ランダム）
ランダム再生中に表示されます。（→p.23）

リモコン

① **OPEN/CLOSE（オープン クローズ）ボタン**
ディスクトレイを開閉します。（→p.17）

② **DISPLAY（ディスプレイ）ボタン**
本体の表示部に表示する情報を切り換えます。（→p.22）

③ **DIMMER（ディマー）ボタン**
本体の表示部の明るさを4段階で切り換えます。

標準→やや暗い→暗い→消灯
↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿｜

メモ

消灯にしている場合でも、本機を操作すると5秒間だけ点灯します。

④ **SA-CD/CDボタン**
スーパーオーディオCDハイブリッドディスクの再生エリア（スーパーオーディオCD/CD）を切り換えます。（→p.18）

メモ

再生中は切り換えできません。

⑤ **SETUP（セットアップ）ボタン**
本機の設定を開始/終了します。（→p.29）

⑥ **数字ボタン**
選曲時などに使用します。（→p.20、24）

⑦ **FOLDER（フォルダー） ▲/▼ボタン**
MP3やWMAを記録したディスクでは、フォルダーを切り換えます。（→p.21）
設定時に、設定項目を切り換えます（→p.29）

⑧ **TRACK（トラック） ▲/▼ボタン**
トラックを選択します。選択した曲を再生するには、►（プレイ）ボタンまたはENTER（エンター）ボタンを押します。（→p.21）
設定時に、設定値を切り換えます。（→p.29）

⑨ **CLR（クリア）ボタン**
数値入力時に入力した数値を取り消します。
メモリー設定時に、選択した曲を取り消します。

⑩ **SEARCH（サーチ）ボタン**
音楽CDやスーパーオーディオCDの場合は曲の指定を行います。MP3やWMAを記録したCDでは、フォルダーや曲を検索します。（→p.21）

⑪ **MEMORY（メモリー）ボタン**
メモリー再生を開始/終了します。（→p.24）

⑫ **A-Bボタン**
A-Bリピートの開始位置と終了位置を設定します。（→p.23）

⑬ ENTER（エンター）ボタン
選択内容を決定します。

⑭ RANDOM（ランダム）ボタン
ランダム再生をするときに押します。（→p.23）

⑮ REPEAT（リピート）ボタン
リピート再生をするときに押します。（→p.23）

⑯ ❚❚（ポーズ）ボタン
再生を一時停止します。一時停止中は、再生を再開します。（→p.20）

⑰ ⏮ボタン
再生中の曲の頭出しをします。（→p.20）

⑱ ▶（プレイ）ボタン
ディスクを再生します。（→p.17）

⑲ ⏭ボタン
次の曲の頭出しをします。（→p.20）

⑳ ◀◀ボタン
早戻しします。（→p.20）

㉑ ■（ストップ）ボタン
ディスクの再生を停止します。（→p.20）

㉒ ▶▶ボタン
早送りします。（→p.20）

㉓ VOLUME（ボリューム）ボタン
オンキヨー製プリメインアンプ（インテグレーテッドアンプ）とセットで使用する場合に、プリメインアンプを操作して再生音量を調節します。

メモ

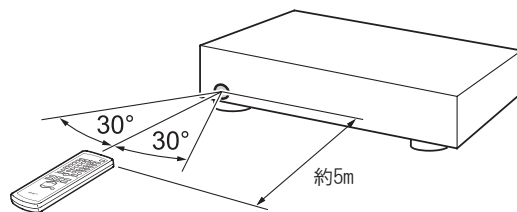
- 一部、対応していないプリメインアンプもあります。
- 操作するときは、リモコンをプリメインアンプの受光部に向けてください。

㉔ MUTING（ミューティング）ボタン
オンキヨー製プリメインアンプとセットで使用する場合に、プリメインアンプを操作して音を一時的に小さくします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

メモ

- 一部、対応していないプリメインアンプもあります。
- 操作するときは、リモコンをプリメインアンプの受光部に向けてください。

正しく操作するには

本体の受光部に向けて、図の範囲内で操作してください。

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

再生できるCD

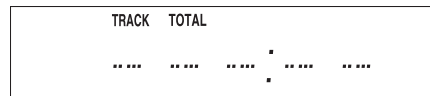
ディスクのレーベル面に、下記のマークが印刷されたディスクを再生できます。

ディスクの種類	マーク	ファイルフォーマット / ファイルタイプ
Audio（オーディオ） CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	PCM
Super（スーパー） Audio（オーディオ） CD	SUPER AUDIO CD	DSD
CD-R	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	Audio CD、MP3、WMA
	COMPACT disc Recordable	MP3、WMA
CD-RW	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable	Audio CD、MP3、WMA
	COMPACT disc ReWritable	MP3、WMA
CD Extra（エキストラ）		Audio CD（Session1）（セッション）

! ご注意

- 上記以外のディスクを再生しないでください。ノイズが出たり、本機が正常に動作しないことがあります。
- CD-Gは再生できません。
- MP3やWMAの記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生できますが、ディスクによっては「正しく再生できない」、「ノイズが出る」、「音がひずむ」などの不具合が生じる場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。詳しくはCD-R/CD-RWレコーダーの取扱説明書を参照してください。
- DTS-CDを再生するときは、DTS対応機器と接続してください。非対応機器との組み合わせでは、ノイズが発生することがあります。
- DTS-CDの再生時は、AUDIO（オーディオ） OUTPUT（アウトプット） ANALOG（アナログ）端子からは音声は出力されません。

MP3、WMAファイルに関する制限事項

- ISO9660レベル1、2のファイルシステムおよび拡張フォーマット（Joliet）に従って記録したディスクを使用してください。（ただし、対応している階層はISO9660レベル1と同じ8階層までです。）
  また、HFS（hierarchical file system）ファイルシステムで記録されたディスクは再生できません。
- 255フォルダ、各フォルダ内255トラックまで認識・再生することができます。
- 画面表示時、フォルダ/トラックに3桁の番号がつきます。
- マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- 本機に対応していないディスクを再生しようとすると本体表示部に次のように表示されます。

- ディスクはファイナライズしてください。

! ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したディスクを再生できないことがあります。（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）
- パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）
- データ容量が小さすぎるディスクは再生できないことがあります。
- 本機はMP3/WMAなどの複数のフォーマットが混在しているディスクには非対応です。

MP3ファイルに関する制限事項

- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- MPEG 1オーディオレイヤー3（64-384kbps）のサンプリング周波数44.1/48kHzで記録されたファイルに対応しています。
- 32kbpsから320kbpsの可変ビットレート（VBR：Variable Bit Rate）に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

WMAファイルに関する制限事項

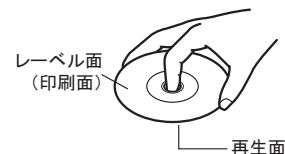
- 「Windows Media® Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。本機は、Windows Media® Player Ver 7、7.1、8を使用してエンコードしたWMAファイルに対応しています。
- 「.wma」、「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 48kbpsから192kbps（44.1kHz）、128kbpsから192kbps（48kHz）の可変ビットレート（VBR：Variable Bit Rate）に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- 著作権保護されたWMAファイルは再生できません。

ディスクの取り扱いについて

異型ディスクについて

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などを付けないようにしてください。

保管上の注意について

直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

レンタルディスクの注意について

ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの、のりがはみ出したり、剥がした跡があるものはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

インクジェットプリンター対応ディスクの注意について

プリンターでレーベル面への印刷が可能なディスクを本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。再生するとき以外はディスクは取り出しておいてください。なお、印刷直後のディスクは使用しないでください。

お手入れについて

汚れによる信号読み取りが低減し、音とびや画像の乱れが生じる場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れをふき取り、そのあと柔らかい布で水気をふき取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。

結露について

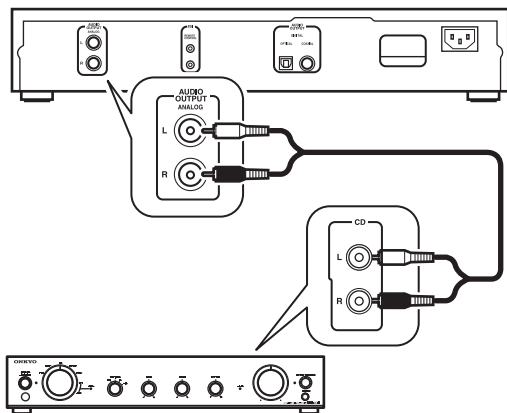
本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めたりした場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

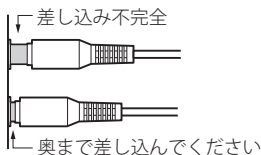
他の機器との接続

アンプや録音機器などと接続します。接続方法にはアナログとデジタルの2種類があります。お楽しみいただく音声の種類に合わせて接続方法を選択してください。

アナログ接続

本機のAUDIO OUTPUT ANALOG端子とオーディオ機器のアナログ音声入力端子を、付属のオーディオ用ピンコードで接続します。

ご注意

- **コネクターの色と音声の左右チャンネルに注意して接続してください。**

- **プラグは根本までしっかり差し込んでください。差し込みが不十分だと、ノイズや動作不良の原因になります。**

- **オーディオ用ピンコードを電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質悪化の原因になります。**

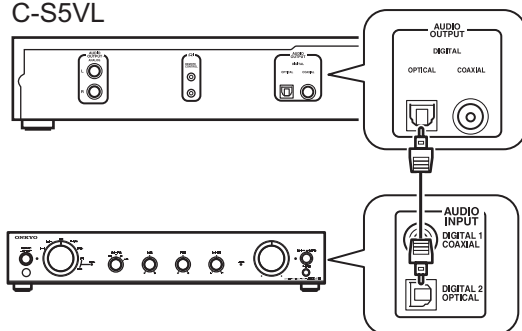
デジタル接続

デジタル音声入力端子のあるオーディオ機器と接続します。デジタル音声の出力端子は「OPTICAL」と「COAXIAL」の2種類があります。接続する機器に応じてどちらかの方法で接続してください。

メモ

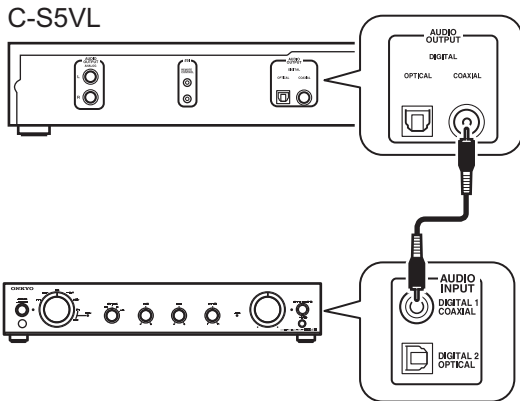
- 出力される音声はOPTICAL、COAXIALとも同じです。
- デジタル音声を出力するときは、本機のDIGITAL OUTスイッチをオンにしてください。
- スーパーオーディオCDを再生していて、DIGITAL OUTがオンになっている（本体のDIGITAL OUTインジケーターが点灯している）ときは、デジタル/アナログ音声はPCM44.1kHz/16bitで出力されます。

OPTICAL

本機のOPTICAL端子とオーディオ機器のOPTICAL端子を、市販の光デジタルケーブルで接続します。

ご注意

光デジタルケーブルはまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込むと、OPTICAL端子のとびらが破損するおそれがあります。

COAXIAL（コアキシャル）

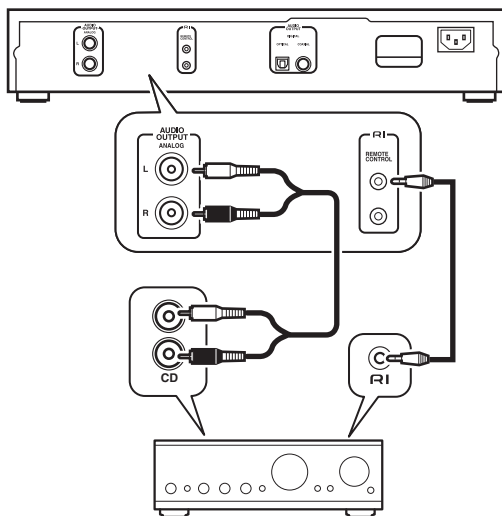
市販の同軸デジタルケーブルで接続します。

RI対応機器との接続

RI端子を持つオンキヨー製AVアンプやAVレシーバーと接続することで、AVアンプやAVレシーバーに付属のリモコンで本機を操作できます。
RIケーブルで、本機のRI端子とAVアンプやAVレシーバーのRI端子を接続します。

付属のオーディオ用ピンコードで、本機のAUDIO（オーディオ） OUTPUT（アウトプット） ANALOG（アナログ）端子とAVアンプやAVレシーバーのアナログ音声入力端子を接続します。

! ご注意

必ずオーディオ用ピンコードも接続してください。RIケーブルと光デジタルケーブルを接続しただけでは、AVアンプやAVレシーバーのリモコンで本機を操作できません。

C-S5VL

メモ

- 使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書を参照してください。
- RI端子はRI端子付き製品と組み合わせて使用してください。
- RI端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。どちらにでも接続できます。

電源コードの接続

! ご注意

- **電源コードは、他の機器と本機の接続が完了してから接続してください。**
- **電源コードの抜き差しは、本機の電源がオフの状態で行ってください。**

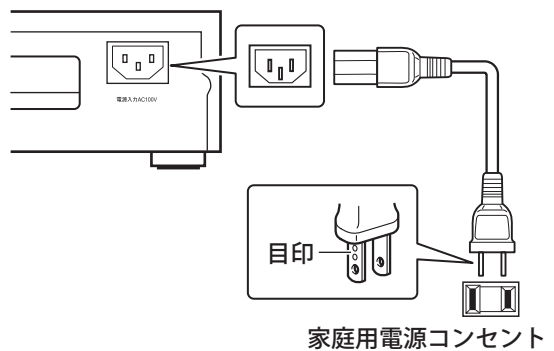
1 他の機器と接続します。（→p.15）

2 本機の電源がオフになっていることを確認します。

3 付属の電源コードを本機のAC INLET（インレット）に接続します。

! ご注意

- **必ず付属の電源コードを使用してください。**
- **絶対に、先にコンセントに電源コードを差し込まないでください。コンセントに接続した電源コードを本機に抜き差しすると、感電のおそれがあります。**

4 電源コードのプラグを家庭用電源コンセントに接続します。

メモ

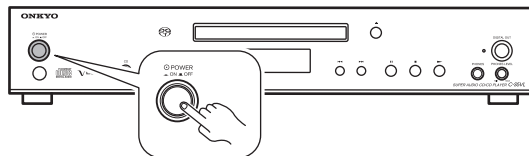
本機では、電源の極性が管理されています。より良い音でお楽しみいただくためには、プラグの刃の印がある方がコンセントの溝が長い方の穴に差し込まれるようにして接続してください。
コンセントの溝の長さが左右とも同じ場合は、どちらの向きで接続してもかまいません。

! ご注意

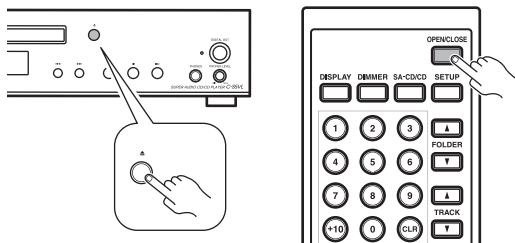
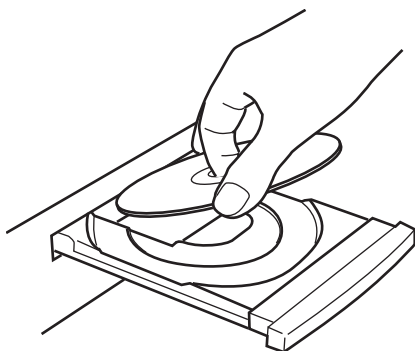
電源コードを外す場合は、必ず先にコンセントから電源コードを抜いてから、本機から電源コードを抜いてください。

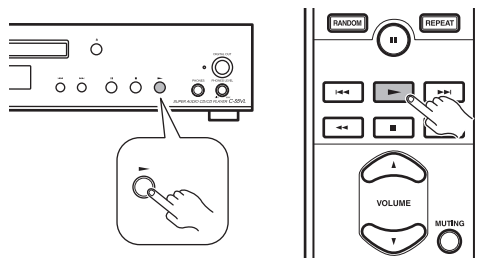
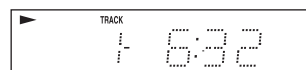
ディスクの再生

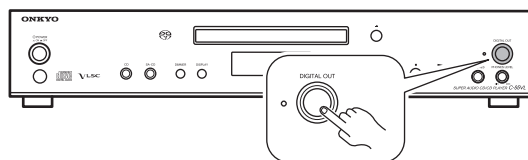
CD、スーパーオーディオCDの再生

1 **本機前面のPOWER（パワー）スイッチを押して電源をオンにします。**

メモ

- アンプと接続しているときは、本機→アンプの順に電源をオンにすると、スピーカーに負担がかかりにくくなります。
- 本機の電源をオフにするときは、再度POWER（パワー）スイッチを押します。
  アンプと接続しているときは、アンプ→本機の順に電源をオフにしてください。
- すでにディスクが入っているときは、再生が始まります。

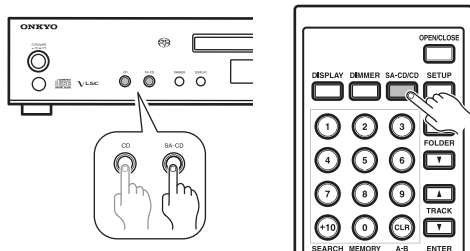
2 **▲（オープン/クローズ）ボタンを押してディスクトレイを開きます。**

3 **ディスクの印刷面を上にしてトレイにセットします。**

8cm CDの場合は内側のくぼみにセットします。

4 **►（プレイ）ボタンを押します。**

トレイが閉じて再生が始まります。

デジタル再生やデジタル録音するとき

DIGITAL OUT（デジタル アウト）ボタンを押して、デジタル音声出力をオンにします。
ボタンを押して、横にあるインジケーターが点灯した状態がオンです。
出荷時設定はオフ（デジタル音声出力しない）です。

メモ

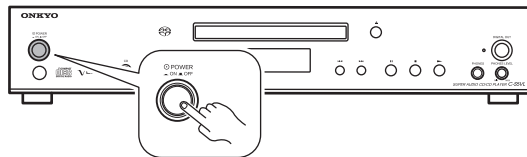
- 再生中は切り換えできません。
- DIGITAL OUT（デジタル アウト）をオンにすると、スーパーオーディオCDもデジタル出力されますが、スーパーオーディオCDはデジタル録音できません。スーパーオーディオCDは、PCM44.1kHz/16bitに変換されて出力されます。

スーパーオーディオCD ハイブリッドディスクを再生する場合

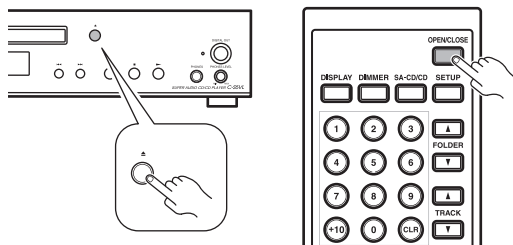
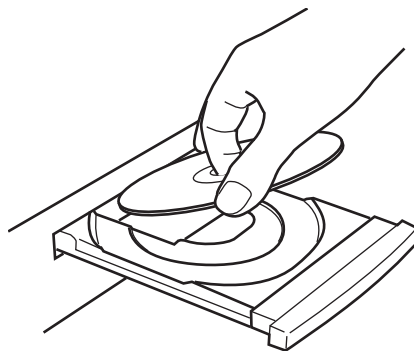
CDエリアとスーパーオーディオCDエリアのどちらを再生するか選択します。本体のCDボタンまたはSA-CDボタンを押すか、リモコンのSA-CD/CDボタンを押します。
選択したエリアのランプが点灯します。

メモ

- スーパーオーディオCDエリアは2チャンネルエリアが再生されます。マルチチャンネルエリアは選択できません。
  マルチチャンネルのみのスーパーオーディオCDの場合は、L/Rチャンネルが再生されます。
- ハイブリッド以外のスーパーオーディオCDの場合は、再生エリアは切り換えられません。再生中のエリアのインジケーターが点滅します。
- ディスクの再生中は、再生エリアは切り換えられません。再生中に切り換え操作を行った場合は、再生中のエリアのインジケーターが点滅します。

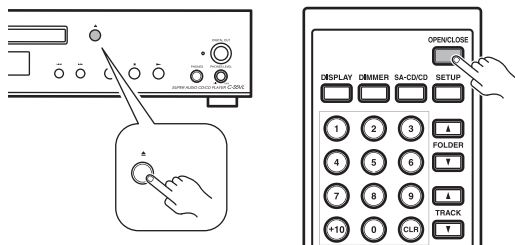
MP3、WMAの再生

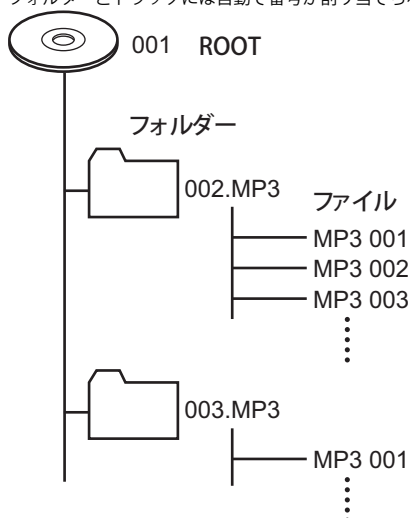
1 本機前面のPOWER（パワー）スイッチを押して電源をオンにします。

メモ

- アンプと接続しているときは、本機→アンプの順に電源をオンにすると、スピーカーに負担がかかりにくくなります。
- 本機の電源をオフにするときは、再度POWER（パワー）スイッチを押します。
  アンプと接続しているときは、アンプ→本機の順に電源をオフにしてください。
- すでにディスクが入っているときは、再生が始まります。

2 ⏏（オープン/クローズ）ボタンを押してディスクトレイを開きます。

3 ディスクの印刷面を上にしてトレイにセットします。

8cm CDの場合は内側のくぼみにセットします。

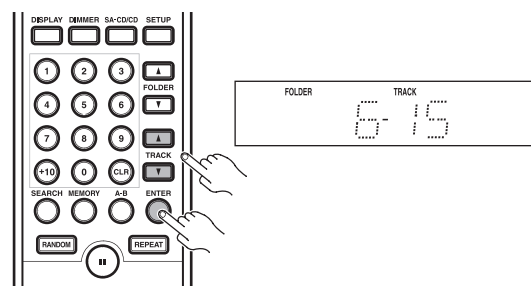
ディスクの再生 - つづき

4 ≜（オープン/クローズ）ボタンを押してディスクトレイを閉じます。

メモ

フォルダーとトラックには自動で番号が割り当てられます。

5 リモコンのFOLDER（フォルダー）▲/▼ボタン、または本体の⏮/⏭ボタンを押して、再生するトラックの入っているフォルダーを選択します。

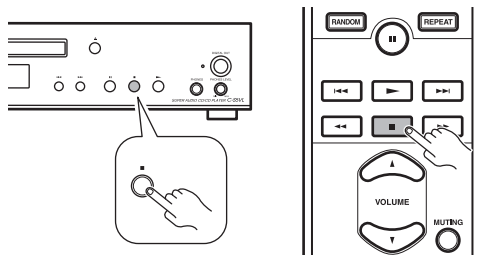
メモ

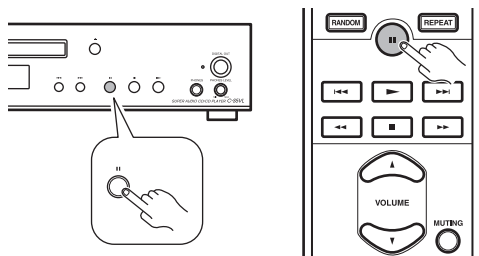
TRACK（トラック）▲/▼ボタンを押した場合も、「**-RTN」と表示されます。このとき、ENTER（エンター）ボタンを押すと、1つ上の階層のフォルダーに移動できます。

6 リモコンのTRACK（トラック）▲/▼ボタンを押して再生するトラックを選択し、ENTER（エンター）ボタンを押します。

再生が始まります。

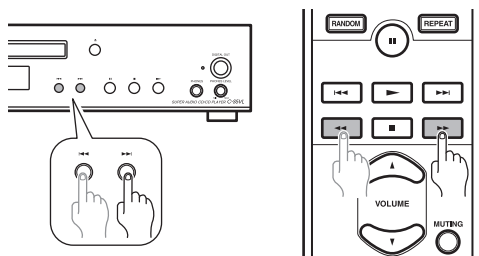
再生中にできること

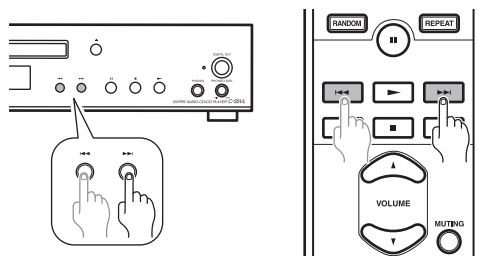
停止

■（ストップ）ボタンを押します。

一時停止

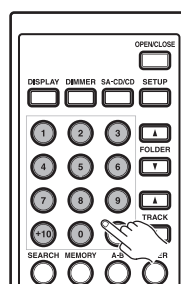
❚❚（ポーズ）ボタンを押します。

再生を再開するときは、もう一度▶（プレイ）ボタンまたは❚❚（ポーズ）ボタンを押します。

早戻し／早送り

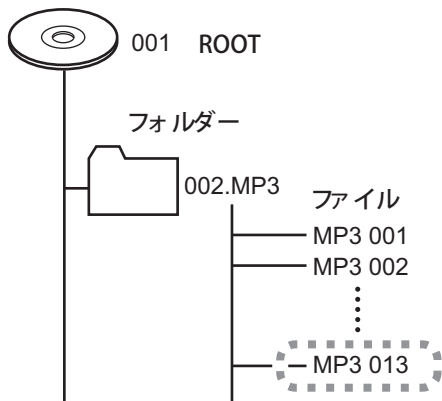
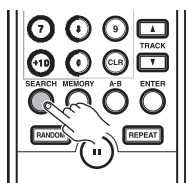
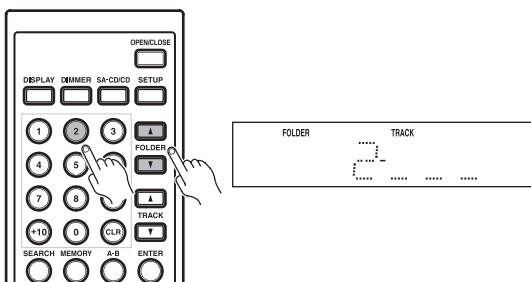
リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押し続けます。
本体で操作するときは、⏮/⏭ボタンを押し続けます。

選曲

⏮ボタンを押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。もう一度押すと、前の曲に戻ります。
⏭ボタンを押すと、次の曲に進みます。

曲の指定(CD、スーパーオーディオCD)

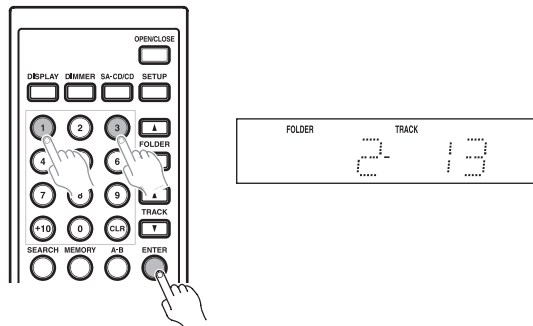
再生する曲の番号を指定します。リモコンの数字ボタンを押します。
10曲目以降を指定する場合、2桁目（10の位）の数値は+10ボタンで指定します。押すたびに10ずつ増えます。

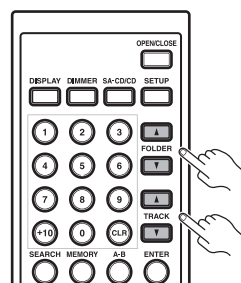
例1：「10」を入力するときは、「+10」「0」と押します。
例2：「23」を入力するときは、「+10」「+10」「3」と押します。

曲の再生場所の指定

CDやスーパーオーディオCDでは、曲の番号（トラック番号）とその曲の再生開始時間を指定して再生できます。MP3やWMAを記録したディスクでは、フォルダー番号とトラック番号を指定して再生できます。

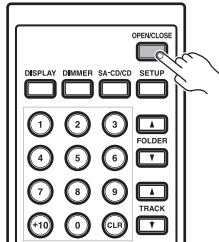
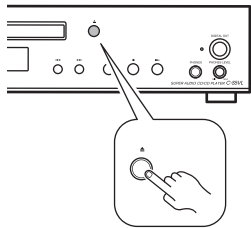
次の場所に入っている曲を指定する場合の手順を例に説明します。

1 **リモコンのSEARCHボタンを押します。**

2 **MP3やWMAの再生時は、数字ボタンを押して再生するトラックの入っているフォルダーを指定し、FOLDER ▲/▼ボタンを押します。**

メモ

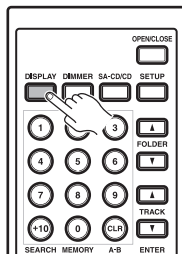
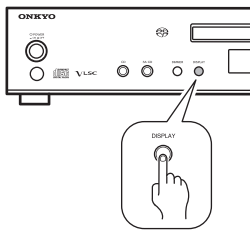
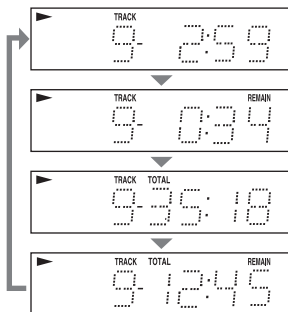
- 指定したフォルダー内に再生可能なファイルが無い場合は、本体表示部に「**-RTN」と表示されます。（**は1つ上の階層のフォルダー番号です）
  その場合はもう一度手順1からやり直すか、リモコンのFOLDER ▲/▼ボタンを押してフォルダーを指定し直してください。
- TRACK ▲/▼ボタンを押した場合も、「**-RTN」と表示されます。
  このとき、ENTERボタンを押すと、1つ上の階層のフォルダーに移動できます。

3 **数字ボタンを押して再生する曲の番号（トラック）を指定し、ENTERボタンを押します。**
選択した曲が再生されます。

フォルダー / トラックの選択

CDやスーパーオーディオCDでは、再生する曲（トラック）を選択できます。
MP3やWMAを記録したCDでは、再生するトラックやフォルダーを選択できます。
フォルダーを選択するときはリモコンのFOLDER ▲/▼ボタンを、トラックを選択するときはTRACK ▲/▼ボタンを押します。

再生中にできること - つづき

ディスクの取り出し

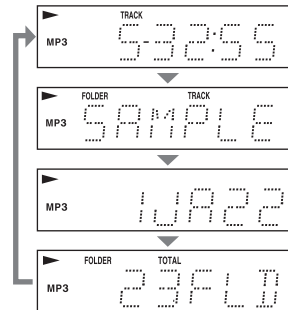
▲（オープン/クローズ）ボタンを押すと、ディスクトレイが開きます。ディスクを取り出したら、再度▲（オープン/クローズ）ボタンを押してディスクトレイを閉じます。

表示する情報の切り換え

本体表示部に表示する情報を切り換えられます。
DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押します。

CD、スーパーオーディオCD再生時

DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すたびに、次のように表示が切り換わります。

メモ

スーパーオーディオCDのTEXT情報は表示されません。

MP3/WMA再生時

DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すたびに、次のように表示が切り換わります。

（画面はMP3再生時の例）

メモ

- 本機で表示できるのは、フォルダー名と曲名（ID3タグのTrack Name）だけです。
- フォルダー名や曲名（ID3タグのTrack Name）が7文字以上の場合、7文字目以降は表示されません。
- 本機で表示できるのは英数字だけです。日本語のフォルダー名や曲名（ID3タグのTrack Name）は表示されません。

いろいろな再生方法

ディスクに記録された曲を順に聴く通常の再生以外にも、「リピート」、「A-Bリピート」、「ランダム」、「メモリー」の4種類の再生方法が選べます。
また、複数の再生方法を組み合わせることも可能です。（例：リピート＋ランダム、リピート＋メモリー）

リピート（繰り返し再生）

再生中の曲、再生中の曲が入っているフォルダー内の全曲、ディスク全体のいずれかの単位で繰り返し再生できます。

リモコンのREPEATボタンを押して繰り返し方法を切り換えられます。
選択されている繰り返し方法の種類は、本体の表示部で確認できます。

再生の状態	表示部の状態
通常再生	►
1 曲を繰り返し	► 1
フォルダー内の全曲を繰り返し	► FOLDER
ディスク全体を繰り返し	►

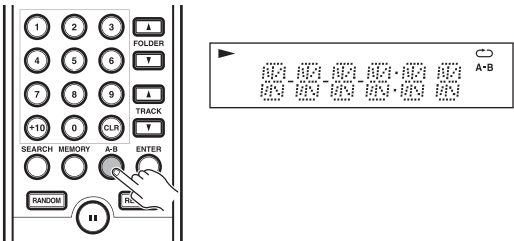
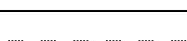
A-Bリピート（2点間の繰り返し再生）

A点（繰り返しの開始箇所）とB点（繰り返しの終了箇所）を指定することで、A点とB点の間を繰り返し再生できます。

1 **ディスクを再生します。（→p.17）**

2 **繰り返しを開始したい場所でリモコンのA-Bボタンを押します。**
本体の表示部にA- が表示されます。

A-

3 **繰り返しを終了したい場所でリモコンのA-Bボタンを押します。**
本体の表示部にA-B が表示されます。

4 **繰り返し再生を解除するときは、■ ボタンやA-Bボタンを押します。**

ランダム（順不同に再生）

リモコンのRANDOMボタンを押すと、曲順をシャッフルして再生できます。
MP3やWMAが記録されたディスクでフォルダーを使用している場合は、ランダム再生の対象をディスク全体とするか、フォルダー内のみとするか選択できます。

もう一度RANDOMボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

再生の状態	表示部の状態
通常再生	►
ディスク全体をランダム再生	► RANDOM
フォルダー内の曲をランダム再生（MP3やWMAを記録したディスクの場合のみ）	► MP3 FOLDER RANDOM

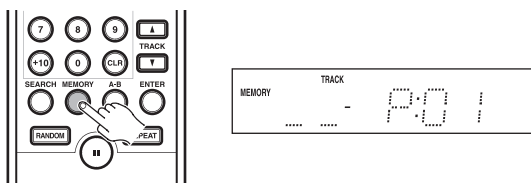
メモリー（予約再生）

お好きな曲を、お好きな順番で再生できます。

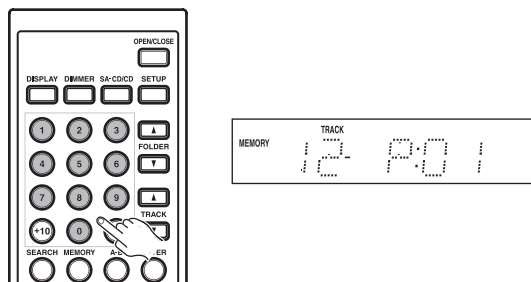
メモ

最大32曲まで予約できます。

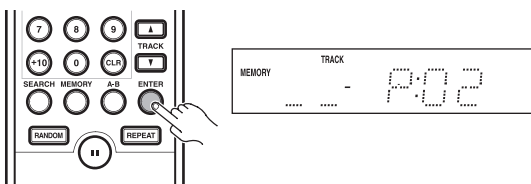
CD、スーパーオーディオCD再生時の設定手順

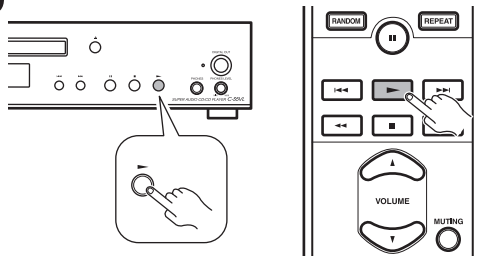
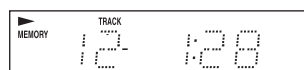
1 **停止中にリモコンのMEMORYボタンを押します。**

2 **数字ボタンで、再生したい曲の番号を入力します。**

例：「12」を入力するときは、「1」「2」と押します。

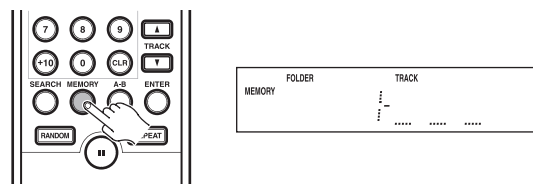
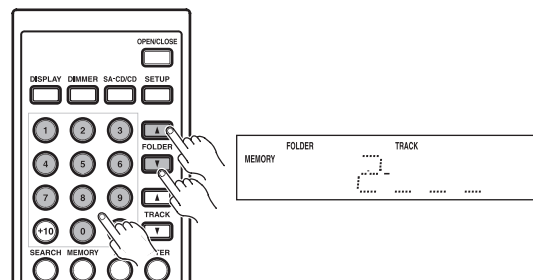
メモ

CLRボタンを押すと、入力した数字を消せます。

3 **ENTERボタンを押します。**

入力した曲が予約され、次の曲を予約する画面になります。

4 **手順2～手順3を繰り返して、再生したい曲を選びます。**

5 **►ボタンを押します。**

再生が始まります。

MP3、WMA再生時の設定手順

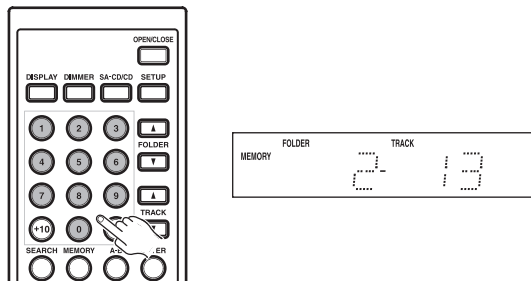
1 **停止中にリモコンのMEMORYボタンを押します。**

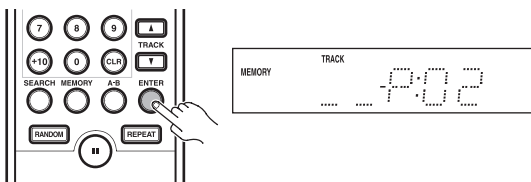
現在選択されているフォルダーの番号が表示され、TRACKの入力待ちになります。

2 **フォルダーを変更するときは、FOLDER▲をクリックします。目的のトラック（曲）が入っているフォルダーの番号を数字ボタンで入力し、FOLDER▼ボタンを押します。**

フォルダー番号2を入力したときの表示

メモ

CLRボタンを押すと、入力した数字を消せます。

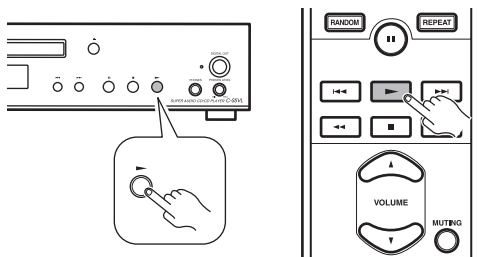
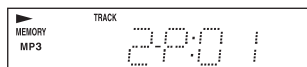
3 TRACKが点滅したら、目的の曲のトラック番号を数字ボタンで入力します。

例：トラック番号13を入力するときは、「1」「3」と押します。

4 ENTERボタンを押します。

入力した曲が予約され、次の曲を予約する画面が表示されます。

メモ

フォルダーを切り換えたいときは、FOLDER ▲ボタンを押し、手順2～手順3を繰り返してください。

5 手順2～手順4を繰り返して、再生したい曲を選びます。

6 ►ボタンを押します。

再生が始まります。

予約内容を確認する

TRACK ▲/▼ボタンを押して、メモリーされている曲のフォルダー番号や曲番号（トラック番号）を確認できます。

このときCLRボタンを押すと、点滅している項目を消去できます。

メモリー再生を停止する

メモリー再生を止めるときは ■ ボタンを押します。このとき、予約内容は残ったままです。

停止中に再度 ■ ボタンを押してから►ボタンを押すと、メモリー再生が中止されて通常の再生方法に戻ります。

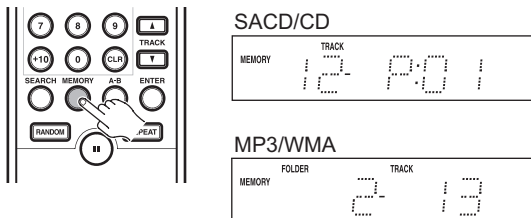
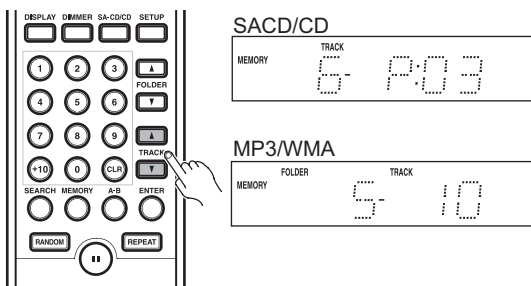
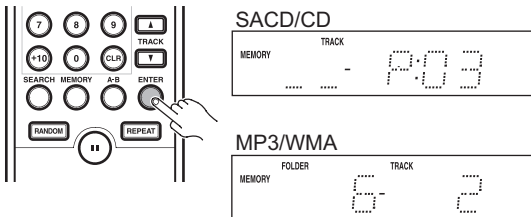
停止中にCLRボタンを押すと、予約内容がすべて消去されます。

メモ

⏏ ボタンを押してトレイを開閉すると、予約は取り消されます。

いろいろな再生方法 - つづき

メモリーに新しい曲を追加する

1 リモコンのMEMORY（メモリー）ボタンを押します。

2 TRACK（トラック） ▲/▼ボタンを押して追加したい場所を選びます。

3 ENTER（エンター）ボタンを押します。

4 数字ボタンで、再生したいフォルダーや曲番号（トラック）を入力します。

メモ

- 詳しい操作方法は、ディスクの種類に応じて次のページを参照してください。
  スーパーオーディオCD、CDの場合：→p.24
  MP3、WMAの場合：→p.24
- FOLDER（フォルダー）とTRACK（トラック）の入力を切り換えるときは、FOLDER（フォルダー） ▲/▼ボタンを押します

5 ENTER（エンター）ボタンを押します。
選択した曲がメモリーに追加されます。

メモリーした曲を取り消す

1 リモコンのMEMORY（メモリー）ボタンを押します。

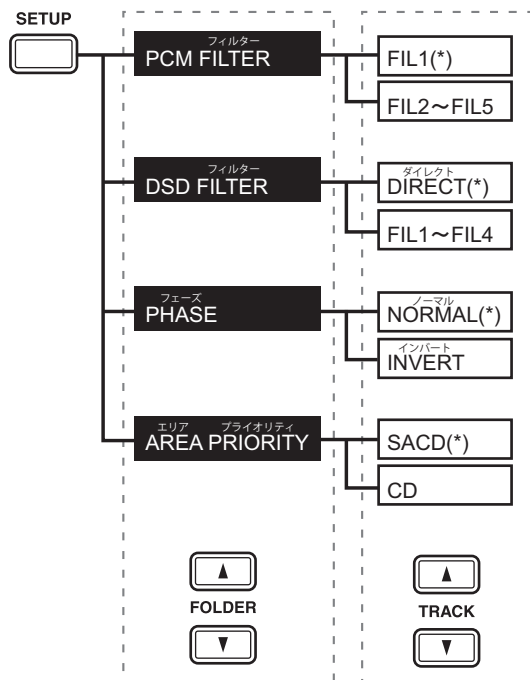
2 TRACK（トラック） ▲/▼ボタンを押して取り消したい曲を選びます。

3 CLR（クリア）ボタンを押します。
選択した曲が取り消されます。

メモ

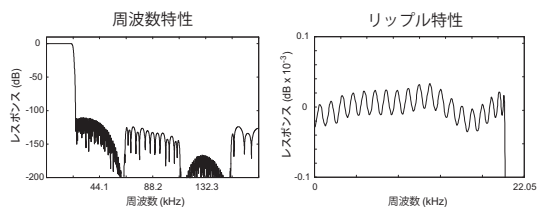
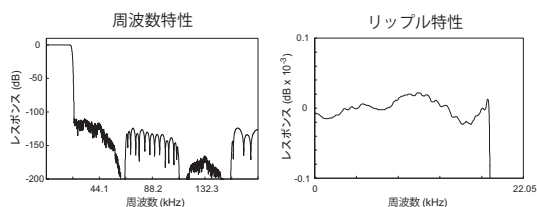
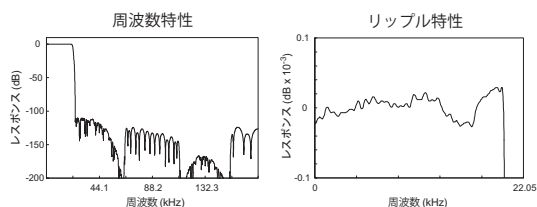
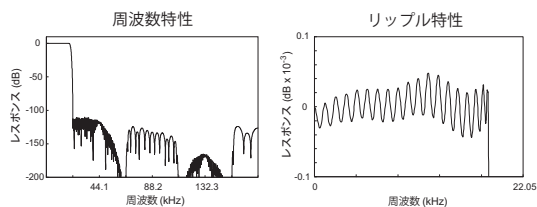
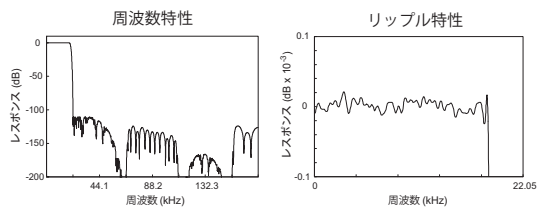
現在再生中の曲は取り消せません。

設定

設定メニュー一覧

*は初期設定値

設定できること

PCM FILTER（フィルター）

アナログ出力において、D/A変換処理される前のPCMデータにデジタルフィルターを適用することができます。
デジタルフィルターは、可聴帯域内・外の特性を切り替えることができます。お好みに合わせてFIL 1～FIL 5のいずれかを選択してください。初期設定値はFIL 1です。
スーパーオーディオCDの場合、この設定は本機のDIGITAL OUT（デジタル アウト）スイッチがオンの時に有効です。
CDの場合、この設定は本機のDIGITAL OUT（デジタル アウト）スイッチの設定にかかわらず設定できます。

DSD FILTER（フィルター）

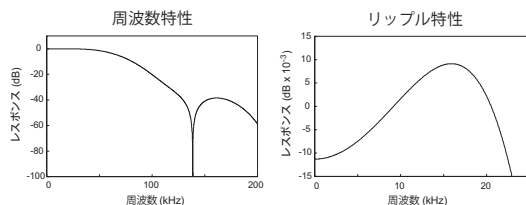
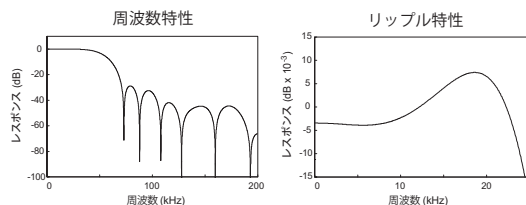
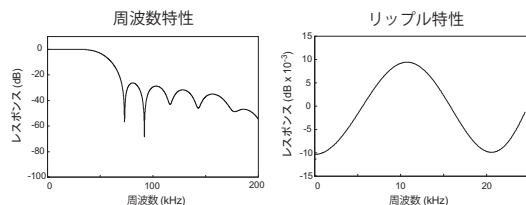
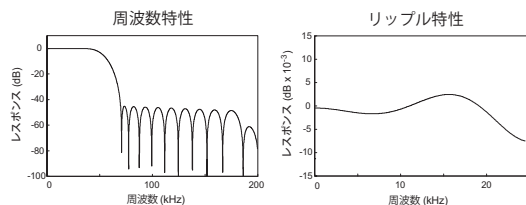
スーパーオーディオCD再生時のアナログ出力において、D/A変換処理される前のDSDデータにデジタルフィルターを適用することができます。
デジタルフィルターは、可聴帯域内・外の特性を切り替えることができます。お好みに合わせて選択してください。初期設定値はDIRECT（ダイレクト）です。
この設定は、スーパーオーディオCD再生時に本機のDIGITAL（デジタル） OUT（アウト）スイッチがオフの場合に有効です。

■FIL 1

■FIL 2

■FIL 3

■FIL 4

PHASE（フェーズ）

アナログ出力の位相を反転するかどうかを設定できます。

■NORMAL（初期設定値）
CDに記録されている波形をそのままの位相で出力します。

■INVERT
CDに記録されている波形を180°反転した位相で出力します。

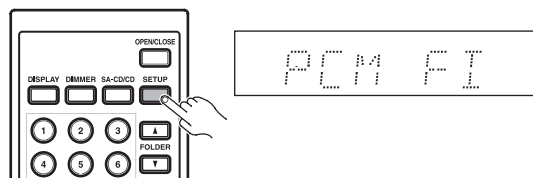
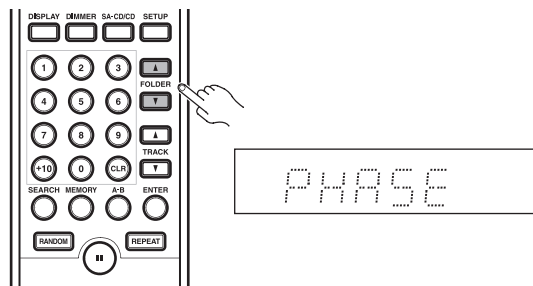
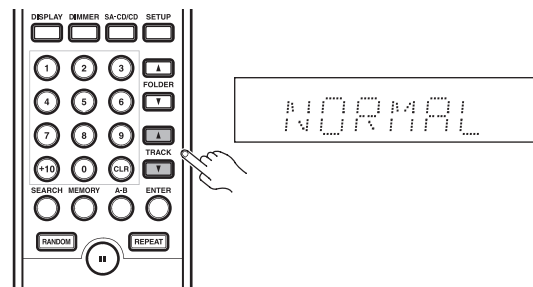
AREA（エリア） PRIORITY（プライオリティ）

スーパーオーディオCDハイブリッドディスクを再生する際に優先して再生するエリアを選択できます。初期設定値はSACDです。

設定のしかた

! ご注意

再生中に設定を変更した場合に、変更した設定内容を記憶できないことがあります。再生中に設定を変更したときは、再生などを停止してから電源をオフにしてください。

1 **リモコンのSETUP（セットアップ）ボタンを押します。**
前回の設定時に、最後に設定した項目が表示されます。

2 **FOLDER（フォルダー） ▲/▼ボタンを押して、設定したい項目を選びます。**

3 **TRACK（トラック） ▲/▼ボタンを押して、設定内容を選びます。**

4 **設定が完了したら、ENTER（エンター）ボタンを押します。**
表示部に「FINISH」と表示されます。
設定が有効になり、通常の状態に戻ります。

メモ

- ENTER（エンター）ボタンを押さないと、設定は有効になりません。
- 設定作業を中断するときは、SETUP（セットアップ）ボタンを押します。

困ったときは

下記の点を確認してください。本機に接続している機器が原因の場合もありますので、各機器の取扱説明書も参照して確認してください。

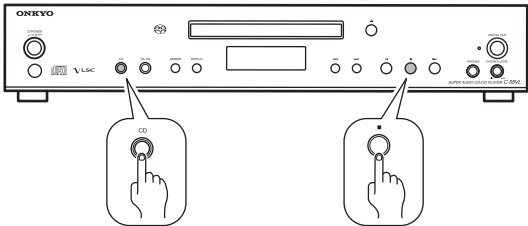
! ご注意

- **本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、本機の電源をオフにして約5秒待ち、再度オンにしてみてください。**
- **製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音してください。**

設定を購入時の状態に戻すには

設定をすべて初期化するときは、次の操作を行ってください。

1 本機からディスクを取り出します。
本機の表示部に「NoDISC（ノー ディスク）」と表示されます。

2 本体の■（ストップ）を押しながらCDボタンを押します。
表示部に「INIT」と表示された後、「FINISH」と表示されます。

これで設定の初期化は完了です。

電源

症状	対処	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。また、本機のAC INLETから電源コードが抜けていないか確認してください。	→p.16

ディスクの再生

症状	対処	参照ページ
ディスクの再生ができない	ディスクはディスクトレイに正しくセットされていますか？ディスクの印刷面を上にしてディスクトレイに置いているか確認してください。	→p.17
	ディスクは汚れていないか確認してください。	→p.14
	本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	→p.12
	結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。	→p.14
ディスクの再生順序通りに再生できない	リピート再生、メモリー再生、ランダム再生などの特別な再生モードを解除してください。	→p.23
選曲時間（指定の曲を探し出す時間）が極端に長い	ディスクが汚れていませんか？ディスク表面をクリーニングしてください。ディスクに傷がある場合、ディスクを取り替えてください。	→p.13
曲をメモリーさせることができない	ディスクは正しくディスクトレイにセットされていますか？ディスクにない曲番をメモリーさせようとしていませんか？	→p.24

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

症状	対処	参照ページ
再生時に雑音が入ったり、音飛びしたりする	再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。	ー
ディスクを認識せず「NoDISC」の表示が出る		
1曲目が再生されない		
頭出しに通常よりも時間がかかる		
曲の途中から再生される		
再生できない箇所がある		
再生の途中で停止する		
誤表示する		

困ったときは - つづき

音声

症状	対処	参照ページ
再生しているディスクの音声が出力されない（アナログ接続、デジタル接続共通）	接続コードがしっかり差し込まれているか確認してください。	→p.15
	接続した機器の入力端子や入力設定を間違えていないか確認してください。	ー
	アンプのボリュームが最小になっていないか確認してください。また、ミュート（消音）になっていないか確認してください。	ー
	本機にヘッドホンを接続しているときは、本機のPHONES LEVELつまみでヘッドホンのボリュームを調節してください。	ー
再生しているディスクの音声が出力されない（デジタル接続）	DIGITAL OUTボタンが「OFF」になっていませんか？デジタル接続しているときは、DIGITAL OUTボタンをオンにしてください。	→p.17
雑音が出る	他のデジタル機器から影響を受けている可能性があります。一度、周辺機器の電源スイッチを切って、雑音源を確かめてみてください。そのうえで本機を雑音の出る機器から離してください。	ー
スーパーオーディオCDの再生時に音質が劣化する	スーパーオーディオCDの再生時にDIGITAL OUTをオンにすると、音質が劣化することがあります。通常はオフのまま使用してください。	→p.17

リモコン

症状	対処	参照ページ
本体のボタンは働くが、リモコンのボタンが働かない	電池を2本とも新品に交換してみてください。	→p.6
	リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？リモコンと本体の間に障害物がありませんか？	→p.11
	本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？	→p.11
	オーディオラックのドアが色付きガラスだったり、装飾フィルムを貼られていたりすると、正常に機能しないことがあります。	→p.11
オンキヨー製AVセンターのVOLUMEやMUTINGが効かない	オンキヨー製AVセンターのIDを2に切り替えてください。	ー

RI機器

症状	対処	参照ページ
RIシステム機能が働かない	RIケーブルとオーディオ用ピンコードがどちらも正しく機器に接続されているか確認してください。RIケーブルと光デジタルケーブルを接続しただけでは、システムとして働きません。アンプやAVレシーバーの入力を確認してください。また、接続している機器の設定によっては動作しないことがあるので、各機器の取扱説明書を確認してください。	→p.16

仕様

●音声出力部

周波数特性	：	CD	4Hz～20kHz
		スーパーオーディオCD	4Hz～50kHz
SN比	：	CD	114dB
		スーパーオーディオCD	110dB
ダイナミックレンジ	：	100dB以上	
全高調波歪率	：	0.0025%	
出力電圧/インピーダンス	：	Digital/Optical	-22.5dBm
		Digital/Coaxial	0.5V(p-p) / 75Ω
		Analog	2.0V(rms) / 500Ω

●総合

電源・電圧	：	AC100-120V、50/60Hz
消費電力	：	15W
最大外形寸法	：	435（幅）×80（高さ）×318（奥行）mm
質量	：	4.5kg
許容動作温度/湿度	：	5℃～35℃ / 5%～85%
再生可能ディスク	：	スーパーオーディオCD、オーディオCD、CD-R/RW（*）、MP3、WMA

*ファイナライズの状態によっては再生できない場合があります。また、レコーダーやディスクによっては再生できない場合もあります。

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

修理について

保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。
●お名前
●お電話番号
●ご住所
●製品名 C-S5VL
●できるだけ詳しい故障状況

オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　（　）
メモ：

ONKYO

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540
製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
050-3161-9555　受付時間　10：00〜18：00
（土・日・祝日・弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内　：　http://www.jp.onkyo.com/support/

W0906-2

SN 29400087A